

「家庭の日」あったか家族コンクール

熊本県では毎月第1日曜日を「家庭の日」とし、楽しく明るい家庭づくり運動を推進しています。この運動の輪を一層広げ、家庭生活を見直すきっかけづくりとして、家族で取り組む「家庭の日」あったか家族コンクールを実施しました。「絵につき」「フォトにつき」部門は「家族で過ごした思い出」をテーマとし、「私たちの1か条」部門では、熊本県教育委員会が作成した『くまもと携帯電話・スマートフォンの利用5か条』を活用し、家族で話し合って決めたインターネットを安全に使うための家庭のルールを募集しました。

県内 46 校より、「絵につき」小学校低学年部門に 768 点、「絵につき」小学校高学年部門に 481 点、「フォトにつき」部門に 602 点、「私たちの1か条」部門に 270 点の合計 2,121 点の応募がありました。審査委員会で選考された、各部門の最優秀賞作品及び優秀賞となった方々を御紹介します。



「絵につき」小学校低学年部門
最優秀賞
晴夏は立派な左官さん
山鹿市立八幡小学校 2年
平野 晴夏 さん(絵)
平野 竜太 さん(文)



「絵につき」小学校高学年部門
最優秀賞
我が家の大海日
あさぎり町立上小学校 6年
酒井 美咲 さん(絵)
酒井 康隆 さん(文)

触れ合おう！ 携帯置いて家族の時間

ゲームやスマホをしている時間は家族と話すことができず一人の時間が多くなります。習いごとをして家族と一緒に過ごすことが減っているため、できるだけ学校のできごとを話したり、カードゲームをしたり一人ではなく家族の時間を作りたいと思いました。

「私たちの1か条」部門
最優秀賞
相良村立相良南小学校 6年
福永 一葉 さん

◆ 優 秀 賞 ◆

○「絵につき」小学校低学年部門

- 天草市立本渡東小学校 3年 有田 羽那さん
- 苓北町立坂瀬川小学校 2年 小林 和継さん
- 天草市立本渡東小学校 3年 千葉 董真さん

○「絵につき」小学校高学年部門

- 人吉市立中原小学校 5年 新村 歌乃さん
- 御船町立御船小学校 5年 中村 英樹さん
- 山江村立山田小学校 6年 横山 勇進さん

○「フォトにつき」部門

- 芦北町立佐敷小学校 3年 田口 楓衣乃さん
- 苓北町立坂瀬川小学校 2年 徳毛 咲空さん
- 玉名市立小天小学校 4年 中村 彩陽さん

○「私たちの1か条」部門

- 水上村立水上学園 7年 下園 咲さん
- 御船町立御船小学校 5年 宮本 優花さん
- 山鹿市立三玉小学校 6年 米田 優心さん

第46回「少年の主張」熊本県大会

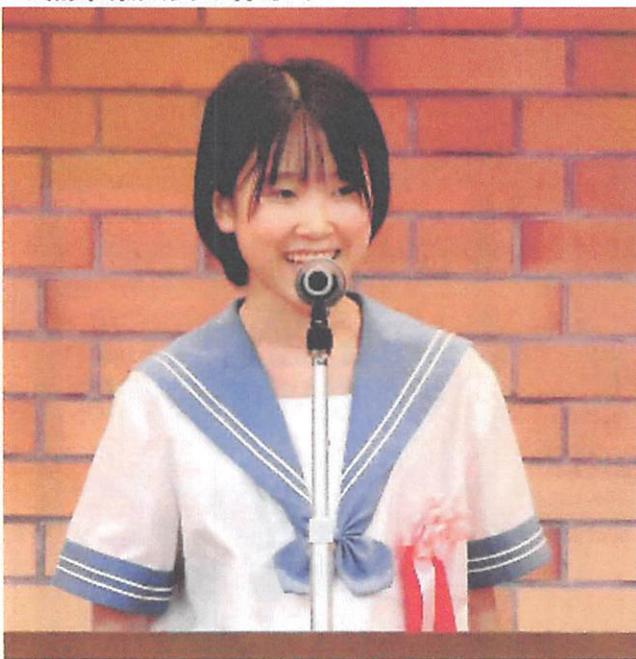
令和6年（2024年）9月23日（月）、熊本県庁において、第46回「少年の主張」熊本県大会を開催しました。中学生が、日常生活の中で感じ、考えていることを広く社会に訴えることにより、同世代の少年が社会の一員としての自覚を持って行動するように促す契機にするとともに、少年の健全育成に対する一般の理解と関心を深めることをねらいとして実施しました。

本年度は、県内の中学校から1,615人の応募があり、事前審査で選考された各地域の代表13人が発表しました。中学生自身の体験や、感じ、考えたことの発表に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

本大会で最優秀賞に輝いた友枝紗寧さん（熊本市立鹿南中学校3年）は、「大好きな祖父がしていたように自分も「ついでに」できることで人や地域を幸せにできる人になりたい。」と決意を述べました。

また、友枝さんは11月に行われた「少年の主張全国大会」に出場し、国立青少年教育振興機構理事長賞を受賞しました。

◆熊本県大会の様子◆



◆受賞結果◆

【最優秀賞】

友枝 紗寧 熊本市立鹿南中学校 3年 ついでにしているだけ

【優秀賞】

川原 菜生 天草市立天草中学校 3年 天草を日本の宝島へ
平井 光 苓北町立苓北中学校 2年 「ばあちゃん、そばにおるけん」

【奨励賞】

大山 由莉 上天草市立大矢野中学校 3年 一步踏み出すと…
菊本 愛姫 南関町立南関中学校 3年 浴衣の思い出
一川 日向子 芦北町立佐敷中学校 3年 「ノリ」とは何か

【入選】

平松 希愛 熊本県立宇土中学校 2年 自由に選択できる社会について思うこと
福島 あかり 宇土市立網田中学校 3年 「当たり前」
松永 祐佳 菊池市立菊池北中学校 2年 「温かくて優しい社会に」
森本 庵里 産山村立産山学園 9年 「あいさつ」が解いてくれた私の偏見
藤原 愛 山都町立清和中学校 3年 生きものと共に生きる
元田 美希 氷川町立竜北中学校 3年 私にとっての最高到達点
中竹 愛華 人吉市立第二中学校 3年 「食」と向き合う

※敬称略。同一の賞については、発表順に掲載しています。

◆第46回「少年の主張」熊本県大会最優秀賞作品◆

ついでにしているだけ

熊本市立鹿南中学校 3年 友枝 紗寧

「ついでにしているだけだよ」1年半程前に他界した大好きだった祖父の口癖でした。

私の家の前に古びた駅があります。周りに店が並んでいるわけではなく、普段は人通りの少ない駅です。しかし、通勤・通学の時間になると、高校生や会社勤めの人で駅はにぎやかになります。駐車場や駐輪場も車や自転車がいっぱいです。にぎやかなのはいいのですが、人が増えるとそれに合わせてごみも増えます。祖父は毎日のように散歩のついでに駅に行き、人が捨てたごみを拾っていました。私はそんな祖父に「どうしてごみ拾いをするの」と聞くと、祖父はいつも「ついでにしているだけだよ」と笑顔で答えました。

ある朝、登校途中の道端に食べ終えたガムが捨てられていました。私は「自分が食べたものくらい自分で捨てればいいのに」と嫌悪感を持ちながら学校へ行きました。夕方になり学校から帰ると、スコップを持ち、しゃがんだ祖父が道にこびりついたガムを取っていました。その姿を見た時、私は正直、祖父がそこまでする必要はないと思い、「どうしてそこまでするの」と祖父に聞きました。祖父はいつものように「ゴミを拾っていたから、そのついでにしているだけだよ」と答えました。祖父は多くのことを語る人ではありませんでしたが、毎日のように散歩のついでにごみ拾いや地域の清掃をする人でした。まだ幼かった私ですが、そんな祖父が大好きで、かっこよく、その姿を見るたびに心が温かくなっていました。

1年ほど前のある日、母の仕事を手伝うために母の職場に出かけた時のことです。母の職場の近くには神社があり、そこにサイクリングに来た男性がお参りをしていました。男性はお参りを済ませると、近くにあった竹ぼうきを持ち、落ち葉を掃き始めました。その光景を目にした時、私は大好きだった祖父の姿が思い浮かびました。いつからか、ごみ拾いをする祖父を当たり前のように見ていた私は、懐かしさで心が温かくなりました。

このことをきっかけに、私は「ついでに自分で

少年の主張全国大会出場

国立青少年教育振興機構
理事長賞を受賞しました！



きることはないか」「自分が何かをすることで人の役に立てれば」ということを考えるようになりました。トイレに行く時はついでに自分が使ったスリッパ以外も並べる、自分の机や棚を整理する時は欠席している友達の机や棚も整理するなど、祖父が言っていた「ついでに」ということを心がけて生活しています。「ついでに」ということは、正直面倒くさいと感じてしまうこともあります。しかし、そんな時はカッコいい祖父の姿を思い出そうにしています。

最後の中体連大会を間近に控えた6月、私は柔道の練習中に受け身をうまく取れず、左ひじを痛めてしまいました。病院での診断は全治3か月の大けがでした。もう試合に出られない、仲間たちと柔道をすることはないとわかった瞬間、涙が止まりませんでした。学校で落ち込む私をみんなが励ましてくれたり、荷物を持ってくれたりしました。けがをしてみても、これまでは、私は「ついでに」という気持ちで人のために自分ができていることを考えてきましたが、このけがを通して、私も周りの友達から支えられ、周りの人から「ついでに」いろんなことをしてもらっていることに気づき、してもらった嬉しさやありがたさを感じることができました。中体連大会には出ることはできませんでしたが、人のやさしさと思いやりに触れ、その大切さに気づく機会になりました。

祖父は他界し、今では会うこともできません。しかし、私の心の中にはいつも祖父がいます。祖父は「ついでにしているだけ」といつも言っていましたが、その根底にあるものは周りの人や自分が生活している地域への思いやりとやさしさでした。自分の行動で周りの人たちが気持ちよく生活でき、生活する地域がきれいになるならば、そのことがうれしいと思っています。私の周りには私にできることがたくさんあります。私も祖父のように自分の行動で人や地域を幸せにできる人になりたいです。「ついでにしているだけ」という気持ちで。

青少年を台湾に派遣し交流事業を実施しました

未来の熊本を担う子どもたちに、「夢」についての講話や海外(台湾)派遣を通して、自分の夢と可能性を発見する機会を提供するとともに、郷土熊本に誇りを持ち、グローバルな視点から思いやりとたくましさを持った子どもの育成を図ることを目的に、『グローバルジュニアドリーム事業』を実施しました。県と熊本市が「友好交流協定」を結んでいる台湾高雄市へ、県内の35人の団員が訪問しました。

【事前研修会】 令和6年(2024年)7月20日(土) 場所:熊本県庁
結団式、青少年大使任命式、知事講話・意見交換、事前学習

【本研修】 令和6年(2024年)8月5日(月)～8月8日(木) 場所:台湾(高雄市・新竹市)
高雄市青少年たちとの交流会、TSMC関連施設の見学等

【事後研修会】 令和6年(2024年)8月24日(土) 場所:熊本県庁
研修のまとめ、意見発表、重光産業株式会社 重光副社長による「夢」講話

〈参加者〉 団員(小学6年生～中学3年生) 29人、リーダー(高校生) 6人

◆事前研修会の様子◆



結団式



知事と語ろう



青少年大使任命式

◆本研修の様子◆





交流会では、お互いの地域紹介の後、だるま落としとけん玉で交流を深めました。その後、小中高校生ごとのグループに分かれ、体験授業を受けました。小学生はディアボロ(台湾版ジャグリング)、中学生は電子マジックミラー作成、高校生はパイナップルケーキ手作り体験に取り組みました。

◆事後研修会の様子◆



◆参加した団員の感想◆(一部抜粋)

新しいことに挑戦するのはとても不安でいっぱいだったけど、今回思い切って挑戦したことで日本とは違う新しいことを学びました。他にも多くのことを経験することができて良かったです。また機会があれば参加したいと思います。

初めて海外に行くことに不安もありましたが、事前研修会で知事から任命書をいただき頑張ろうという気持ちになりました。今回の体験を通して、自分の英語力はまだまだ力不足だと感じ、海外の方ともたくさん会話ができるように勉強していきたいと思いました。みんなで語り合った夢の実現に向けて努力したいです。

最初はここまで充実したものになるとは予想していませんでしたが、みんなとの交流を通して自分の世界が広がり、楽しくて本当に充実した研修になりました。これまでは、自分の世界から出ていくという機会がありませんでしたが、今回とても素晴らしい経験がたくさんできたので本当に良かったです。

**令和7年度の団員募集を、4月中旬から5月上旬にかけて行います。
詳細は4月上旬に県庁ホームページに掲載予定です。**

「熊本県青少年育成県民会議表彰式」開催

令和7年（2025年）3月2日（日）、熊本県庁において表彰式を開催しました。青少年の健全育成に関して優れた活動を行っている青少年、青少年育成者、青少年育成市町村民会議等を表彰し、その活動を奨励かつ広く周知することにより、青少年健全育成の促進を図ることを目的としています。

今年度は、各地域において学習支援、災害支援ボランティア、環境美化活動、芸術文化発展への貢献や見守り活動などを継続して行っておられる青少年の部4名、青少年育成者の部5名を表彰しました。

◆受賞者一覧◆（ ）は主な活動場所

【青少年個人の部】

岩下 彩七（熊本市）
長田 慶次（熊本市）
篠田 翔大朗（熊本市）
下川 愛加（熊本市）

【青少年育成者個人の部】

安部 宗貞（熊本市）
笹山 欣悟（人吉市）
谷川 聖也（熊本市）
西山 和枝（嘉島町）
米村 千晶（甲佐町）



〈敬称略〉

賛助会員を募集しています

熊本県青少年育成県民会議では、青少年健全育成を県民総ぐるみで取り組んでいくという趣旨のもと、広く県民の皆様の御芳志を賜りたく賛助会員を募集しています。

県民会議は、県の補助金を主な財源に様々な事業を実施していますが、昨今の厳しい財政事情により事業の継続に苦慮しているところです。可能な限り経費の削減に努めておりますが、今後も継続して活動を進めていくには自主財源を確保することが何より必要と考えております。

つきましては、当県民会議の活動に御賛同いただき、なにとぞ御協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。なお、賛助金については、下記口座への振込を御利用ください。末尾記載の県民会議事務局へ御持参いただいても結構です。賛助会員になられた方には、青少年健全育成に関する各種研修会への御案内、広報誌等の送付をいたします。

記

ゆうちょ銀行 一七九店

当座預金 00002978

口座名義 熊本県青少年育成県民会議事務局

（クマモトケンセイショウネンイクセイケンミンカイギジムキョク）

賛助金ありがとうございました

熊本県保護司会連合会様
熊本県地域婦人会連絡協議会様
一般財団法人熊本県交通安全協会様
熊本県子ども会連合会様
熊本県私立中学高等学校保護者会様



（令和6年（2024年）4月～令和7年（2025年）2月受付分。順不同。）

【発行・お問合せ先】

熊本県・熊本県青少年育成県民会議

〒862-8570 熊本県中央区水前寺6丁目18番1号
熊本県環境生活部県民生活局くらしの安全推進課青少年班
TEL: 096-333-2294
FAX: 096-382-7403

発行者：熊本県
熊本県青少年育成県民会議
所属：くらしの安全推進課
発行年度：令和6年度（2024年度）